

●今月の法語カレンダー●
拝む手につたわるみ名の
あたたかさ
高木 明義

ベストセラー『だから、あなたも生き抜いて』の著者・大平光代さんは現在、中央仏教学院の通信教育で浄土真宗を学んでいます。波乱に満ちた半生を送られ、「挫折した私が立ち直れたのは、物心着いた時から仏教が身近にあったおかげ。祖母の『仏さまが見てはるからね』という言葉が耳に残っていた」と話されます。「必ずあなたを救いたい」南無阿彌陀仏のみ名に込められたあたたかさが、拝む手に伝わる。そのあたたかさを知るからこそ、本当に強く生きられるのですね。

9月の行事

●朝の日曜礼拝
毎週日曜朝7時

●秋季彼岸法要

9月23日(土) 秋分の日

午後1時半(受付1時)

講師 松林宗恵師(映画監督)

終了後「雅楽説明会」

●婦人の集い 午後1時半

11日(月) 踊り習い会

●お経サークル

16日(土) 午後3時

●ヨーガ教室

13/27(水) 午後1時

●写経会 お休み

10月の行事

●仏教講座会 20日(午後)

●写経会 20日(午前)

●京都参拝旅行

15(日) 17(火)

●アソカ園 10日(火)

●お経サークル 28日(土)

●ヨーガ 11/25日(水)

京都参拝旅行
参加者募集中!

10月15日(日) 17日(火) 二泊三日の日程にて京都への参拝旅行を予定しております。

宗祖親鸞聖人のお墓所であり、「本願寺」発祥の地でもある「大谷本願寺」に天真寺ご門徒さまのための永代合葬墓完成を記念した参拝旅行です。



親鸞聖人誕生の地「日野誕生院」・9歳でお得度された地「青蓮院」・師である法然上人に学ばれた地「吉水草庵」など、聖人のご足跡を辿ります。

また、琵琶湖温泉では旅の疲れをゆっくり取り、大原ではのんびり散策する時間も十分取っております。

今回は天真寺門信徒だけのゆったり自由な旅行のコースを組んであります。詳しい行程表・申込書はお寺にございます。なお、参加費はお一人様7万円です。

京都はすべてバス移動で、詳しいガイドさんもおりますので安心してご参加下さい。

申込×切は9月23日(土) 秋季彼岸法要日までとなります。

皆さまどうぞお誘い合わせの上、お申し込み下さい。たくさんのご参加お待ちしております。

秋季彼岸法要のご案内

【日時】

9月23日(土) 秋分の日
午後1時半(受付1時)

【講師】

映画監督 松林宗恵師

(略歴)

大正9年、島根県出身。生家は浄土真宗本願寺派寺院。龍谷大学を経て日本大学芸術学部卒。在学中の昭和17年東宝映画に入社。昭和27年監督デビュー。「人間魚雷回天」「世界大戦争」「連合艦隊」「社長」シリーズなど約70本の映画作品を手がける。平成16年、故郷・桜江町に「松林宗恵映画記念館」が開館。

お彼岸は春分の日・秋分の日を中心とした七日間です。自分の日頃の生活を省みる「仏教週間」といたしましょう。ぜひ法要にお参り下さり、皆さんと一緒にご聴聞させていただきます。

■将来的に永代合葬墓にご納骨をお考えの方は、どうぞご参加下さい。

■ご本山で「帰敬式」

(阿彌陀さまの前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、今後、力強く生きていくことを誓う生涯ただ一度の大切な儀式で、「おかみそり」ともい、法名をいただきます。を受けられます。希望者はお申し出下さい。

平和を願うつどい

【期日】

9月11日(月) 14時

【会場】築地本願寺

■第1部 特別講演
セイブ・ザ・イラク・

チルドレン広島代表
大江厚子
“劣化ウラン弾の被害に苦

しむイラクの子どもたちを救いたい”

■第2部 朋に歌う
迦陵頻伽

法話楽団 かりよびんが

■平和を願うパネル展
(9月中常設展示)

千鳥ヶ淵

全戦没者追悼法要

【期日】

9月18日(月) 敬老の日

【会場】

国立・千鳥ヶ淵戦没者墓苑

12時35分〜『つどい』

1時30分〜

『千鳥ヶ淵全戦没者

追悼法要』
ご門主様ご参拝・ご親香
になります。

どちらもご自由にご参拝いただけます。ぜひお誘いあわせの上、ご参加下さい。

雅楽 始めませんか



雅楽は、日本固有の音楽と古代アジアの音楽がミックスされ、平安中期に完成されました。
東儀秀樹さんの活躍で知られた方もいらっしゃると思いますが、

天真寺でも興味のある方と一緒に雅楽を初めてみたいと考えております。若住職の法友・弘山光照氏(東京芸大・雅楽専攻卒)にご指導いただく予定です。

秋季彼岸法要の後、説明会を致しますので、少しでも興味・関心のある方はぜひご参加下さい。

【雅楽説明会】

9月23日(土)
場所 1階和室にて
時間 法要後15分位



9月11日(月)の「婦人の集い」は、昨年好評でした会員の加藤貞子さんご指導による踊り習い会です。皆さんと少し体を動かし、気軽に楽しめるよう教えていただきますので、どなたでも無理なくご参加いただけます。初めての方でもお気軽にどうぞ。ぜひお出かけ下さい。

お参り
法話(若住職)
「仏教と踊り」
踊り習い会
茶話会

国内避難民の子どもたちに衣服を!

ビルマでは小学生の衣服が大変不足している現状です。お子さんやお孫さんの不要な衣服がありましたら、お寺までお持ち下さい。まとめて送ろうと考えております。お持ちいただく切日は9月23日(土)秋季彼岸法要日です。ご不明な点はお寺までお問い合わせ下さい。皆さまのご協力をお願い致します!



お願い

ビルマ国境のパンカム村では、タイ人の小学生147人と一緒に、ビルマ側からの57人の国内避難民の子どもたちが学んでいます。

この子供たちはビルマ国内で教育を受けられないため越境し、月曜日から金曜日まで学校にある寄宿施設で暮らしながら学んでいます。しかし、大変貧しく衣服を手に入れることが困難で、汚れた衣服を着続けることから、皮膚病を患っている子どもがたくさんいます。このため皆様のご協力をお願いする次第です。

サイズは小学生用です。ご不要の衣服がありましたら、ご協力をお願い致します。なお、現地は山間地域でこれからは長袖も必要になりますので、送っていただく衣服は夏用冬用を問いません。

(日本ビルマ救援センターより)

★お盆には大変多くのご門徒さまがご参拝下さり、法要を無事勤修することができましたこと、感謝申し上げます。
お預かりしました「盆名簿」は一年間大切に尊前にお供えさせていただきます。

また、朝早くからお手伝い下さいました門信徒会・婦人会の役員の皆様には、お疲れさまでございました。ご協力ありがとうございました。

★「天真寺墓苑新設アンケート」には、多くの方々よりご協力と共に返信をいただき有り難うございました。引き続き皆さまのご意見・ご希望を伺いたく存じますので、墓地購入をご検討下さる方は、ご返信をよろしくお願い致します。

今後計画が進捗しましたら寺報を通じてご案内申し上げます。

「ボラン寺」活動

千葉県松戸市の天真寺仏婦がお寺でボランティア活動行う

「ボランテラ!〜お寺でボランティア」と千葉県松戸市の天真寺(西原恵照住職)の仏教婦人会では7月10日、カンボジアの子どもたちに手作りの人形とボールを贈る「みんなで布チョッキン」活動を行った。

この活動は、NPO「幼い難民を考える会」が行っているもの。日本で切り抜いた布をカンボジアに送り、現地の女性が縫製し、子どもたちに手渡される。現地で縫製を行うことで女性の自立を助ける職業支援ともなっている。

この活動に賛同した同仏婦では、同会から峯村里香事務局長と福田晃子さんを招き、「チョッキン」活動。カンボジアの子どもたちの現状や同会の活動などを学んだ後、参加者40人は持参した布を広げ、型紙に合わせて裁断(写真)。会員たちはそれぞれ切り抜いた布を、縫製のための賃金や糸代などに充てられる1000円と共に2人に手渡した。

今回のボランテラは、NPOアユース仏教国際協力ネットワークの事業に携わっている同寺後継住職の西原龍哉さんが「お金を援助するだけでなく、活動を通してつながりを感じてもらおうことで、ボランティアへの理解を深めてほしい」と



呼びかけ、「み教えをいただく仏婦としてぜひ」と会員たちが呼応した。参加した北村信子さんは「自分のできることからと思い参加した。使っていなかった布が子どもたちの遊具として役立つと思うと嬉しい。参加することで子どもたちとのつながりを感じる」と語る。

西原さんは「地域にも呼びかけ、お寺でできるボランティア『ボランテラ』を続けていきたい」と話している。

8月10日発行『本願寺新報』に 天真寺の記事が大きく掲載されました!